

第 19 回企画委員会議事要旨

日時 2020 年 12 月 22 日 15:00～17:00

場所 zoom にて開催

出席者 駒村委員長、村木委員、久保寺委員、池田委員、有村委員、奥田委員、西岡委員、岡崎委員、日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

2021 年 3 月開催予定の「第 2 回 WORK ! DIVERSITY カンファレンス」、2021 年 2 月から 3 月に実施予定の「ダイバーシティ就労支援サービス提供機関アンケート調査(案)」、及び、ダイバーシティ就労推進地域プラットフォームとダイバーシティ就労推進フォーラム・(仮称)構想(案)について、意見交換が行われた。

事務局から、「第 2 回 WORK ! DIVERSITY カンファレンス」の骨格プログラムの提案があった。清家篤 WORK ! DIVERSITY プロジェクト全体委員会委員長(日本私立学校振興・共済事業団理事長/全国社会福祉協議会理事長)、蒲原基道元厚生労働事務次官からの講演、「WORK ! DIVERSITY プロジェクトとダイバーシティ就労推進地域プラットフォーム・推進フォーラム構想」をテーマにするパネル・ディスカッション第 1 部、「働きづらさを抱える多くの人々を就労につなげよう！」と題するパネル・ディスカッション第 2 部等からなるプログラム構成の了解が得られた。

次に、「ダイバーシティ就労支援サービス提供機関アンケート調査(案)」につき事務局から説明があり、働きづらさを抱える方々の就労支援を行っている全国約 1,800 の事業所を対象とする実態調査を 2021 年 2 月から 3 月に行うことのできる了承が得られた。

さらに、以下のように、ダイバーシティ就労推進地域プラットフォームとダイバーシティ就労推進フォーラム・(仮称)構想(案)につき、事務局から説明があり、基本的な了承が得られた。

- ① 都道府県レベル(少なくとも、複数市区レベル)では、地域プラットフォームを構築し、地域支援機関、就労事業所(企業、福祉事業所)、就労困難者(本人、家族、当事者団体)、自治体・行政機関の調整・協働支援を行う。
- ② 日本全体の統括レベルでは、地方での取組みを支援するため、主要関係団体を巻き込むフォーラムを構築し、相談・助言、就労支援機関情報・先進事例・専門家リスト・モデル支援プログラム・モデルキャリアラダー(キャリアのはしご)等地方の取組みを支援するツール・情報を開発・提供する。上記地域での取組み支援に対し、ファンド等を活用し必要資金を供給する。